

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公表番号】特表2003-523278(P2003-523278A)

【公表日】平成15年8月5日(2003.8.5)

【出願番号】特願2001-561161(P2001-561161)

【国際特許分類】

C 0 2 F 1/50 (2006.01)

A 0 1 N 25/30 (2006.01)

A 0 1 N 37/02 (2006.01)

A 0 1 N 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 2 F 1/50 5 1 0 C

C 0 2 F 1/50 5 2 0 A

C 0 2 F 1/50 5 2 0 K

C 0 2 F 1/50 5 3 2 C

C 0 2 F 1/50 5 4 0 B

A 0 1 N 25/30 Z A B

A 0 1 N 37/02

A 0 1 N 61/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月13日(2008.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 水性系と接触する表面の微生物バイオフィルムを除去する方法であって、当該方法が、水性系での微生物の生存度を保持しながら表面から微生物バイオフィルムを実質的に除去して水性系から微生物を排出できるようにするのに有効な量の低発泡性エトキシル化陰イオン界面活性剤を水性系に添加する段階を含んでおり、低発泡性エトキシル化陰イオン界面活性剤が (a) アルキル置換カルボン酸及びアルキル置換カルボン酸塩の少なくとも 1 種と (b) ポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンブロック共重合体とを含む、方法。

【請求項 2】 前記アルキル置換カルボン酸又は塩の炭素原子数が 6 ~ 18 である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 前記アルキル置換カルボン酸又は塩が、3, 5, 5 - トリメチルヘキサン酸及びその塩、3, 5, 5 - トリメチルオクタン酸及びその塩、3, 7, 7 - トリメチルオクタン酸及びその塩、3, 5, 5 - トリメチルデカン酸及びその塩、並びに 3, 9, 9 - トリメチルデカン酸及びその塩の少なくとも 1 種を含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】 前記ポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンブロック共重合体がポリオキシプロピレン 1 モルに対してポリオキシエチレン 1 ~ 1.6 モルのモル比を有する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】 前記低発泡性エトキシル化陰イオン界面活性剤が、界面活性剤の合計重量を基準にして、水を 35 ~ 70 重量%含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】 前記低発泡性エトキシル化陰イオン界面活性剤が、界面活性剤の合計重量を基準にして、アルキル置換カルボン酸及びアルキル置換カルボン酸塩の少なくとも

1 種を 25 ~ 45 重量%含む、請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】 前記低発泡性エトキシ化陰イオン界面活性剤が、界面活性剤の合計重量を基準にして、ポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンブロック共重合体を 5 ~ 25 重量%含む、請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】 前記界面活性剤が 1 種以上の金属イオン封鎖剤をさらに含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 9】 前記アルキル置換カルボン酸及びアルキル置換カルボン酸塩の少なくとも 1 種が、炭素原子数が 6 ~ 12 でアルキル基の炭素原子数が 1 のアルキル置換カルボン酸のカリウム塩又はナトリウム塩を含んでおり、ポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンブロック共重合体が 4000 ~ 5000 の分子量及びポリオキシプロピレン 1 モルに対してポリオキシエチレン 1 ~ 1.6 モルのモル比を有する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 10】 前記アルキル置換カルボン酸のカリウム塩又はナトリウム塩が 3, 5, 5 - トリメチルヘキサン酸のカリウム塩又はナトリウム塩を含む、請求項 9 記載の方法。